



自立と誇りある
日本をつくります

自民党衆議院埼玉県第3選挙区（越谷市・草加市）支部長

自民党こそ猛省して生まれ変わるべきである きかわだひとし 黄川田仁志

特集 フロンティア開発で日本に「自立」と「誇り」を！～メタンハイドレートの可能性
※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション

第9号

※『きかステ』と呼んでください！

自民党こそ猛省して生まれ変わるべきである

自由民主党衆議院埼玉県第三選挙区支部長の黄川田仁志です。

私が、日々、政治活動をする中で、多くの方から言われることがあります。それは、「前回の衆議院選挙では、新しい力に期待して民主党に投票したが、結局何も変わらないどころか、悪くなった。だから、民主党にはもう投票したくないが、自民党にも投票したくない。」という声です。自民党に投票したくない理由を尋ねると、「震災復興や長引く不況など、政治が一致団結して取り組まなければならないときに、民主党の揚げ足ばかり取っている」、「野党・自民党は何でも反対して、昔の社会党のようになった」、「昔の自民党と違い、政治家が小粒で頼れる人がいない」など、様々なご意見をいただきます。

その中で、特に多いのが、「自民党は、前回の選挙で大敗したのに、何も変わっていないのではないか？そもそも悪いところを反省していないのではないか？」という、厳しくも重要なご意見です。

新人である私は、地域の皆様の声を聞き、地域の現場で活動している身として、自民党は、民主党政権の批判ばかりでなく、まずは前回の衆議院選挙での大敗を「猛省」し、何が変わったのかを国民の皆様にしかりと伝えるべきだと思っています。そして、日本が一丸となって取り組むべき、震災復興と景気回復という課題に、前向きに取り組んでいく姿勢が求められていると感じています。

私が考える、最も自民党が反省すべき点は、戦後の人口増加・大規模公共事業を前提とした国の政策の方向性を改革することができなかったことです。いわゆる「しがらみ」にメスを入れずに、何とか繕いながらやってきた結果、日本の様々なところで、国際的な流れや急速な少子高齢化に対応できなくなり、長引く不況と閉塞感を招いてしまったように思います。

そして、あまりにも長期に渡り、政権与党であったことから、自分たちにしかできないという「おごり」もあったのではないのでしょうか。政治は限られた人たちのものではありません。日本は民主主義の国であり、一人ひとりの国民が係り合っ政治が成り立っています。そのことを自民党は見失いかけていたようにも感じています。

私、黄川田仁志は、地盤も看板もカバンもない、真っ新な新人です。自民党は、大敗をきっかけとし、私のようなサラリーマン出身の新人を次の国政を担う人材として支部長に任命しています。私の役割は、猛省から生まれた反省点を、これからの政治で体現することです。責任政党として長期に渡り、国を動かしてきた経験・知識等、これまでの自民党の良いところは継承し、改めるべきところは思い切って改革する。それが私の役割です。

「新人だからこそできることがある。」

皆様と共に、新しい力で、日本を元気にしていきます。



黄川田仁志

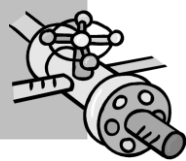
フロンティア開発で日本に「自立」と「誇り」を！～メタンハイドレートの可能性



今、日本のエネルギー政策は、大きな転換を余儀なくされています。これまで国を挙げて推進してきた原子力発電への信用が失われ、**大きく安定した発電方式である火力発電**に再び期待が集まっています。しかし、火力発電には、石炭や天然ガスなどの化石燃料が必要であり、今の日本は、自前でそれらを用意することはできません。火力発電の割合が増えれば、国民の生活や経済活動を支える**電力供給を外国に頼る**ことになり、日本の安全保障上、決して好ましい状況とは言えません。しかし、日本には、自前で化石燃料を生産できる可能性があります。最も実現性が高いのが「**メタンハイドレート**」の開発です。

メタンハイドレートとは、メタンガス（都市ガスの原料）が固体となったものです。別名「**燃える氷**」とも言われます。日本近海の海底に、日本の天然ガス消費量の約 100 年分が眠っているとの調査結果も公表されています。よって、安全保障上、大変魅力的です。これまでの**日本のエネルギー予算の内、最も大きな割合を占めるのは、原子力発電に関するもの**でした。平成 22 年度の予算では、約 2,000 億円です。一方、メタンハイドレート開発予算は約 45 億円で、実用化を目指すにはあまりにも少なすぎました。しかし、今回の原発事故で、国は、世論の後押しを受け、新エネルギー開発の重要性を改めて認識し直し、今までよりも積極的に開発を進めざるを得なくなったのです。

メタン
ハイドレート
ってナニ？



日本の エネルギー 予算



実際に、今年（2012.2）、（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構は、メタンハイドレートの産出試験に向けた事前掘削作業を、愛知県渥美半島沖海底で開始しました。産出試験は世界初で、安定的に取り出すことができれば、2018 年度に商業化も目指されています。総費用は約 170 億円です。商業化が実現されれば、新しい雇用もたくさん生まれます。メタンハイドレートは、今回産出試験をしている**太平洋側だけでなく、日本海側にもたくさんある**ことが確認されています。過疎化が進む沿岸地域の経済の活性化にも必ずやつながると私は考えます。さらには、自前の資源であることから、輸送の手間が大幅に省け、**安価で安定的な天然ガスの供給が実現**し、様々な経済活動に好影響をもたらすでしょう。

国家の自立と経済の再生を一緒に成し遂げられる可能性が高い、メタンハイドレートの開発。このような**希望あるフロンティア開発に、強い意志をもって積極的に国の予算を配分**することが、これからの政治の重要な役割であると私は考えます。

政治が
希望をつくる



～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとしを応援する会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



「自立」と「誇り」ある日本をつくりたい

きかわだひとしを応援する会

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2 丁目 8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : kikawada.hitoshi@gmail.com HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記まで連絡願います。

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは？…次期衆議院議員選に向けて活動中。東京理科大学卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和 45 年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・三線